

地理歴史(日本史)〔問題〕

(100点・80分)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見たり、裏返したりしてはいけません。
2. 出題科目は、世界史・日本史です。どちらか1科目を選択しなさい。
3. この問題冊子は地理歴史(日本史)です。全部で30ページあり、解答用紙は共通で1枚(両面)です。

試験中に問題冊子・解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁などに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

4. 試験開始後、ただちに解答用紙の所定の記入欄に、氏名・受験番号・誕生月日をそれぞれ正しく記入し、さらに受験番号・誕生月日をその下のマーク欄にマークしなさい。また、選択科目欄には、選択する科目をマークしなさい。マークと異なる科目を解答したり、両科目を解答した場合は判定対象となりません。
5. 受験番号・誕生月日が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 解答は、解答用紙の解答欄に各設問で指示された方法で記入しなさい。

この問題冊子(日本史)の解答番号は51～100です。

例えば、

70

と表示のある問いに対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号70の解答欄の②にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
70	① ● ③ ④

7. 問題冊子の余白等は、下書きなどに適宜利用してよいが、各設問で指示された解答は、必ず解答用紙の解答欄に指示された方法で記入しなさい。
8. 試験終了後、提出は解答用紙のみとし、問題冊子は持ち帰りなさい。

日本史

第1問 原始～現代の日中関係に関する文章A～Cを読み、下の問い（問1～9）の答えを解答欄に記入せよ。

A 弥生時代における中国と倭との関係は、中国史書の記述から知ることができる。具体的には、紀元前1世紀頃に倭人の社会が100余りの国に分かれ、漢が朝鮮半島においた **ア** に定期的に使者を派遣していたこと、3世紀の邪馬台国の女王卑弥呼が皇帝から **イ** の称号を与えられたことなどが知られる。

^a 古墳時代の中期にあたる5世紀には、倭の五王が中国南朝の宋に、相次いで使者を派遣した。

^b 6世紀末に隋が南北朝を統一すると倭（日本）からは遣隋使が、7世紀前半に隋に代わって唐が成立すると遣唐使が派遣されるようになった。

問1 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **51**

- ① **ア** — 帯方郡 **イ** — 親魏倭王
- ② **ア** — 帯方郡 **イ** — 漢委奴国王
- ③ **ア** — 楽浪郡 **イ** — 親魏倭王
- ④ **ア** — 楽浪郡 **イ** — 漢委奴国王

問2 下線部^aに関連して、中期の古墳の特徴について述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **52**

- ① 玄室と羨道をもち、追葬可能な竪穴式石室が増えた。
- ② 被葬者の武人的性格を示す、鉄製の武器や武具などの副葬品が増えた。
- ③ 近畿地方の大王の墓では、八角墳が多くみられるようになった。
- ④ 百舌鳥古墳群など、大型古墳が数多く集まった群集墳がみられた。

問3 下線部⑥に関連して、隋や唐の時代の中国に渡った人々に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 53

Ⅰ：中国から帰国した旻や高向玄理が国博士となり、大化改新に関わった。

Ⅱ：中国で学んだ経験をもつ橘逸勢が、承和の変で流罪に処せられた。

Ⅲ：中国に渡った留学生の阿倍仲麻呂が、帰国できずに長安で死去した。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

B 10世紀に唐が滅んだのち、ウの諸王朝の興亡を経て中国を統一した宋（北宋）と日本との間には正式な国交が開かれなかったが、宋の商船が来航するなど、私貿易が活発化した。

13世紀後半には、c 文永の役のあとに元が宋（南宋）を滅ぼし、鎌倉幕府のもとで組織された日本軍は、弘安の役では、元・エだけでなく、旧南宋の兵も加わった元軍と交戦した。

南北朝の動乱期のなかで、室町幕府の3代将軍に足利義満が就任した1368年に、中国では元の支配を排して朱元璋が明を建国した。15世紀初頭、将軍を辞していた足利義満のもとで明との国交が樹立され、d 明との貿易が開始された。

問4 ウ・エに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 54

① ウ — 五胡十六国 エ — 新羅

② ウ — 五胡十六国 エ — 高麗

③ ウ — 五代十国 エ — 新羅

④ ウ — 五代十国 エ — 高麗

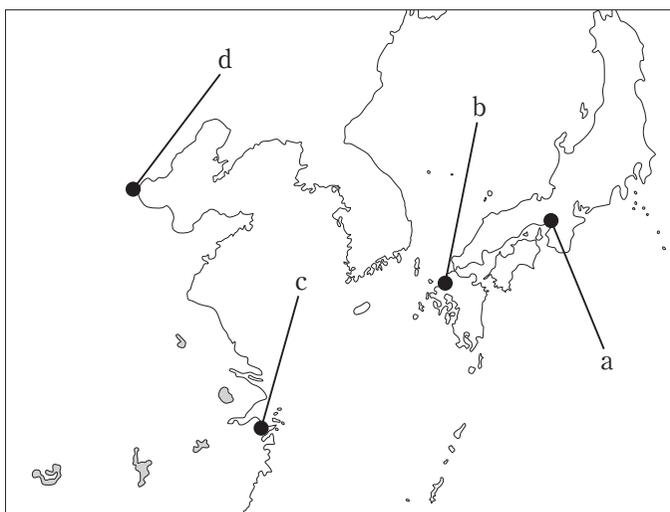
問5 下線部㉓に関連して、文永の役後の1279年、北条時宗の招きで来日し、1282年に円覚寺を開いた南宋の臨済僧の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 55

- ① 虎関師錬 ② 無学祖元 ③ 絶海中津 ④ 義堂周信

問6 下線部㉔に関連して、日明貿易に関して述べた次の文章X・Yと、下の地図上に示した場所(a～d)との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 56

X：15世紀後半には、この都市の商人と結んだ大内氏が、細川氏とともに日明貿易を担うようになった。

Y：16世紀前半に大内氏と細川氏がこの地で衝突したあと、日明貿易は大内氏によって独占されるようになった。



- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
 ③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

C 16世紀後半から19世紀後半にかけて、豊臣政権による全国統一を経て、260年以上にわたって江戸幕府が日本の政治を担った。⑥この時期には、明の征服を企図した豊臣政権によって朝鮮への出兵が断行され、江戸幕府のもとでは、明だけでなく、女真族が打ち立てた清とも正式な国交が開かれることはなかった。

明治政府は、1870年代の日清修好条規締結で国交を樹立したものの、琉球や朝鮮半島をめぐる諸問題を背景に対立を深め、1890年代に⑦日清戦争が勃発した。

1911年の辛亥革命を経て、翌年に中華民国が成立して清が倒れた。第一次世界大戦中、日本は中国大陸への進出を加速させ、昭和期には満洲事変や日中戦争で中国と軍事的に衝突した。

第二次世界大戦後、⑧内戦を経て1949年に成立した中華人民共和国との国交は、1970年代になって樹立された。

問7 下線部⑥の時期の日中関係に関わる出来事に関して述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 57

- ① 豊臣政権が文禄の役を起こすと、明は朝鮮に援軍を派遣した。
- ② 17世紀半ばには、明僧隱元隆琦が黄檗宗を伝え、幕府に許容された。
- ③ 17世紀後半には、清国人の居住地を限定するため、唐人屋敷が設けられた。
- ④ 井原西鶴は、明の遺臣による明再興を筋立てとする『国性（姓）爺合戦』を著した。

問8 下線部⑦に関連して、雑誌『文学界』や『明星』などを拠点に、日清戦争前後に文壇の主流となった文学のジャンルとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 58

- ① 耽美派
- ② 白樺派
- ③ 自然主義
- ④ ロマン主義

問9 下線部㉘に関して述べた次の文章X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 59

X：1949年10月、この人物を国家主席とする中華人民共和国の成立が宣言された。

Y：1972年9月、当時首相だったこの人物が訪中して、日中共同声明を発表した。

a：蔣介石 b：毛沢東
c：佐藤栄作 d：田中角栄

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

第2問 古代の地方支配に関する文章A・Bを読み、下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

A ヤマト政権は、服属した地方豪族にも姓を与え、**ア**などの地方官に任じ、直轄領の**イ**や直轄民の名代・子代の管理などをゆだねた。しかし、ヤマト政権がその勢力を伸長させていくなかで、520年代に筑紫**ア**磐井が起こした反乱のように、豪族の抵抗を受けることもあった。

646年には4条からなる「改新の詔」が出され、大化改新の一環として、地方行政組織の「**ウ**」が各地に設置された。「**ウ**」は、大宝令施行以後には「郡」に表記変更されたことが知られている。[Ⓐ]7世紀後半には、天智天皇の時代に庚午年籍、持統天皇の時代に庚寅年籍が作成されるなど、民衆の把握も進んだ。

[Ⓑ]大宝律令や養老律令が制定され、律令体制が整備された8世紀には、中央から派遣された国司のもとで、かつての**ア**などから任じられた郡司が地方支配を担うようになった。

問1 **ア**・**イ**に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。**60**

- ① **ア**—国造 **イ**—田荘
- ② **ア**—国造 **イ**—屯倉
- ③ **ア**—伴造 **イ**—田荘
- ④ **ア**—伴造 **イ**—屯倉

問2 **ウ**に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。**61**

- ① 郷 ② 保 ③ 里 ④ 評

問3 下線部③に関連して、7世紀後半の政策や出来事として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 62

- ① 多賀城の構築 ② 藤原京への遷都
③ 白村江の戦い ④ 壬申の乱

問4 下線部⑥に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 63

- ① 大宝律令は、舎人親王や藤原仲麻呂らによって制定された。
② 養老律令は、南家の藤原百川のもとで施行された。
③ 律令制下では、男女ともに調や庸の負担が義務づけられた。
④ 律令制下では、九州北部に西海道を統轄する大宰府がおかれた。

B 781年に即位した桓武天皇は政治改革を進め、定員外の国司などを廃止し、新たに勘解由使を設け、国司交替時に事務引継ぎなどを監督させた。地方の実情をふまえ、公出挙の利率を5割から3割に下げ、工の日数を年間60日から30日に減らす措置をとり、班田の期間を6年に1回から才年に1回に改めた。

10世紀初頭には、^c醍醐天皇によって延喜の荘園整理令が出され、班田が命じられた。しかし、この頃には、地方支配の実務を担っていた郡司の力が弱体化するなかで、戸籍・計帳の作成や班田収授が実施できなくなっていた。

そのため、^d政府は国司の権限を強化し、土地を基礎に受領が負名から徴税する体制を整備していった。こうした体制が整備される一方、10世紀には^e平将門の乱や藤原純友の乱など、地方支配を動揺させる戦乱が発生した。

問5 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 工 — 歳役 オ — 10年
- ② 工 — 歳役 オ — 12年
- ③ 工 — 雑徭 オ — 10年
- ④ 工 — 雑徭 オ — 12年

問6 下線部㉔に関連して、醍醐天皇の命により、『古今和歌集』の編纂にあたった人物の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 紀貫之 ② 淡海三船 ③ 石上宅嗣 ④ 大伴家持

問7 下線部㉔に関して述べた次の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X：受領は、田堵と呼ばれる有力農民に、田地の耕作を請け負わせた。
Y：受領は、それまでの税に代わる、本途物成や助郷役を課すようになった。

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
- ③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

問8 下線部㉔に関連して、平将門の乱を扱った次の史料に関して述べた文章として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

⁽⁹³⁹⁾天慶二年十一月廿一日を以て、常^も陸^{ひたち}国^{わた}に渉る。国は兼ねて警固^かを備へて、将門を相待つ。

(中略) 仍りて彼^よ此^{かれこれ}合戦の程に、国^{いくさ}の軍三千人、員^{かず}の如^{こと}く討ち取られたり。

(中略)

時に武蔵権守興世王^{むさしのごんのかみおきよのおおきみ ひそか}、竊^{たばか}に将門に議^{いわ}りて(注1)云く、「案内^{あない}を検^{けん}ぜしむるに、一国を討ちたりと雖^{いえど}も、公^{おおやけ}の責め軽からじ。同じくは坂東^{りよりやく}を虜掠^{りよりやく}して(注2)、暫^{しばら}く気色^{けしき}を聞かむ」といへり。将門報答^{おも}して云く、「将門^{おも}が念^{ねん}ふところも嘗^{ただ}これのみ。その由^{よし}何となれば、(中略)苟^{いやし}くも将門^{せつたい}、刹帝^{りょ}帝^{びょう}(注3)の苗裔^{りょ}(注4)、三世の末葉^{まつよう}なり。同じくは八国より始めて、兼ねて王城^{りょう}(注5)を虜領^{りょう}(注6)せむと欲^{おも}ふ。今すべからく先^まづ諸国^{いんやく}の印鑑^{いんかん}を奪^{うば}ひ、一向^{いっこう}に受領^{じうりやう}の限^{かんと}りを官堵^{かんと}に追ひ上げてむ。然れば且^かつは掌^{たなごころ}に八国を入れ、且^{かつ}つは腰^{こし}に万民^{ばんみん}を附^つけむ」といへり。(中略)

また数千^{つもの}の兵^{たい}を帯^たして、天慶二年十二月十一日^{しもつけ}を以て、先^{しもつけ}づ下野国^{しもつけ}に渡る。(中略)時に新司^{きんじ}(注7)藤原公雅^{きみまさ}・前司^{ぜんじ}(注8)大中臣全行朝臣等^{おおなかとみのまたゆきのあそん}、兼ねて国^{くに}を奪^{うば}はむと欲^{おも}するの気色^{けしき}を見て、先^まづ将門^{しやうもん}を再^{すなわ}拜^{まが}して、便^{すなわ}ち印鑑^{いんかん}を撃^うげ、地^ちに跪^{ひざまず}きて授^{たてまつ}け奉^{ほう}る。

(『将門記』)

(注1) 議りて：誘って。

(注2) 虜掠して：奪い取って。

(注3) 刹帝：天皇の血を引くこと。

(注4) 苗裔：子孫。

(注5) 王城：帝都。ここでは京都のこと。

(注6) 虜領：征服すること。

(注7) 新司：信任の国守。

(注8) 前司：前任の国守。

- ① 常陸国の軍勢は、平将門の軍を撃退した。
- ② 平将門は、興世王の提案を否定した。
- ③ 平将門は、都まで征服しようとしていた。
- ④ 下野国の国司は、平将門と戦って敗死した。

第3問 中世の絵巻物に関する文章 A・B を読み、下の問い（問 1～8）の答えを解答欄に記入せよ。

A 絵と詞書とをおりまぜて時間の進行を表現する巻物は絵巻物と呼ばれ、視覚によって ^a 社会の様子などを把握するのに適した史料とされている。ただし、当時の ^b 貴族社会や仏教界を、鳥獣に擬して風刺している『鳥獣人物戯画』のように、詞書のない絵巻物もある。

『鳥獣人物戯画』は、 が華嚴宗の道場として再興し、栄西から贈られた ^c 茶種を栽培したことで知られる高山寺に伝わる絵巻物である。

問 1 下線部^aに関連して、中世の社会に関して述べた次の文章 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

I：借上が活発な金融活動を展開するなかで、御家人が窮乏するようになった。

II：蓮如の布教などを背景に寺内町が形成され、一向一揆が起こるようになった。

III：興福寺や延暦寺の僧兵が、朝廷に強訴して要求を通そうとするようになった。

① I — II — III ② I — III — II

③ II — I — III ④ II — III — I

⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

問2 下線部⑥に関連して、院政期に勢力を伸長させた平氏政権の貴族的性格に関して述べた次の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 69

X：平清盛は、娘の徳子を安徳天皇の中宮に入れ、その子の高倉天皇を即位させるなど、摂関家と同様に、天皇家の外戚として威勢をふるった。

Y：平氏政権は、関東御領や関東知行国を支配下におくなど、天皇家と同様に、荘園や知行国を経済的な基盤としていた。

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

問3 ア に入る僧の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 70

- ① 法然 ② 源信 ③ 明恵（高弁） ④ 日蓮

問4 下線部⑦に関連して、室町時代に侘茶を創出した人物の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 71

- ① 村田珠光 ② 一条兼良 ③ 池坊専慶 ④ 後藤祐乗

B 院政期を代表する絵巻物には、『鳥獣人物戯画』のほかに、応天門の変を描いた『伴大納言絵巻』、『源氏物語』を絵巻物にした『源氏物語絵巻』、後白河上皇の命で④年中行事を描いた『年中行事絵巻』、⑤民衆の生活・風俗を伝える『信貴山縁起絵巻』があげられる。

鎌倉文化期の絵巻物としては、備前国福岡の市の様子などを描いた『一遍上人絵伝』、肥後の御家人 の奮戦を描いた『蒙古襲来絵詞』、⑥武士の生活の様子を描いた『男衾三郎絵巻』などがよく知られている。

問5 下線部④に関連して、1330年代に有職故実書の『建武年中行事』を著したことや、建武の新政を推進したことで知られる、後醍醐天皇に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 元弘の変後、鎌倉幕府の討幕を再び計画し、正中の変によって隠岐に流された。
- ② 鎌倉を攻めて鎌倉幕府を倒した足利尊氏を重用し、征夷大將軍に任命した。
- ③ 建武の新政では、雑訴決断所を受け継いだ、引付と呼ばれる訴訟機関を設けた。
- ④ 持明院統の光明天皇が擁立されたのち、吉野に逃れて自らの皇統の正統性を主張した。

問6 下線部㉔に関連して、民衆の生活と結びついて土地の生産性を向上させる集約化・多角化が進められたことが特色とされている、室町時代の農業に関して述べた次の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 73

X：畿内では二毛作に加え、三毛作が行われた。

Y：品種改良が進み、早稲・中稲・晩稲の作付けが普及した。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤
③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

問7 イ に入る人名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。
74

- ① 安達泰盛 ② 竹崎季長 ③ 三浦泰村 ④ 和田義盛

問8 下線部㉕に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 75

- ① 笠懸の様子が描かれている。
② 京都の戦場で活動する足軽が描かれている。
③ 鉄砲を用いた戦闘が描かれている。
④ 各国の軍団に動員された兵が描かれている。

第4問 近世の武家政権と朝幕関係に関する文章 A・B を読み、下の問い（問 1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

A 織田信長のあとを継いだ豊臣（羽柴）秀吉は、1585 年に 、翌年に太政大臣に就任した。1588 年には、 に後陽成天皇を迎え、^a 諸大名に、天皇と秀吉への忠誠を誓わせるなど、秀吉は天皇権威を利用しながら豊臣政権の基盤を整え、全国統一を実現した。

徳川家康は、1611 年に後水尾天皇を擁立し、天皇の譲位・即位まで幕府の意向に従わせるほどの権力の強さを示した。さらに幕府は 1613 年の公家衆法度に続き、1615 年に ^b 禁中並公家諸法度 を発布して、朝廷運営の基準とした。禁中並公家諸法度の規定に違反したとして、後水尾天皇が譲位する事件が発生し、^c 1620 年代後半 には、京都の朝廷と江戸の幕府との間で緊張が生じた。

問 1 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | |
|-----------|-------|
| ① アー関白 | イー聚楽第 |
| ② アー関白 | イー伏見城 |
| ③ アー征夷大將軍 | イー聚楽第 |
| ④ アー征夷大將軍 | イー伏見城 |

問2 下線部②に関連して、豊臣秀吉が死去する直前に、五大老に列せられていた有力大名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

77

- ① 石田三成・明智光秀
- ② 石田三成・毛利輝元
- ③ 前田利家・明智光秀
- ④ 前田利家・毛利輝元

問3 下線部⑥に関連して、禁中並公家諸法度の一部である次の史料に関して述べた文章として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 78

一、天子諸芸能の事、第一御 也。

一、三公（注1）の下親王。

一、関白・伝奏^{なら}並びに奉行・職事^{しきじ}等申し渡す儀、堂上^{とうしょう}地下^{じげ}（注2）の輩^{ともがら}相背^{あいそむ}くにおいては流罪たるべき事。

一、 の寺住持^{じゅうじしき}職、先規^{けんぎ}希有^{けうう}の事也。近年^{ねん}猥^{みだ}りに勅許^{ちやくきょ}の事、且^{かつ}は臈^{ろう}次^じ（注3）を乱し、且^{かつ}は官寺^{くわんじ}を汚し、甚^{はなは}だ然^{ぜん}るべからず。

（『大日本史料』）

（注1）三公：三大臣（太政大臣・左大臣・右大臣）のこと。

（注2）堂上地下：堂上は昇殿を許された公家・公卿。地下は昇殿を許されていない公家。

（注3）臈次：僧侶が受戒したあと、修行の功德を積んだ年数で決まる席次。

- ① 史料中の には、「学問」が入る。
- ② 太政大臣・左大臣・右大臣の地位は、親王より上とされている。
- ③ 公家の命令に従わない関白や武家伝奏は、流罪にするとしている。
- ④ 史料中の に「紫衣」が入る。

問4 下線部㉔に関連して、1620年代後半に、京都で和算の書『塵劫記』を著した人物の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 79

- ① 契沖 ② 吉田光由 ③ 渋川春海 ④ 稲生若水

B 3代将軍徳川家光が死去した直後、1651年に^㉔慶安の変が発生した。これを機に、^㉔儒学に裏付けられた文治主義の考えが重視されるようになると、礼儀によって秩序を維持するうえからも、朝幕関係の融和をめざす政策が打ち出されるようになった。具体的には、徳川綱吉の時代に実施された大嘗会の再興や禁裏御料の加増、新井白石のもとで ウ 家が創設されたことなどがあげられる。

しかし、18世紀後半には、光格天皇が望んだ、実父の ウ 典仁親王への太上天皇の尊号宣下を幕府が拒否したことによって、幕府と朝廷の協調関係は崩れた。尊号一件と呼ばれるこの事件は、^㉔寛政の改革が挫折する契機の一つになったとされている。

問5 下線部㉔の慶安の変に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 80

- ① 由井（比）正雪が牢人を集めて幕府の転覆をはかった。
② 竹内式部が関白らを軽んじたとして処分された。
③ 山県大弼が謀反を企てたとして死刑に処せられた。
④ 生田万が越後柏崎で陣屋を襲撃した。

問6 下線部㉔に関連して、儒学に関わる政策に関する次の史料に関して述べた下の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 81

林大学頭江

朱学の儀は、慶長以来御代々御信用の御事にて、已ニ其方家代々右学風維持の事仰せ付け置かれ候儀ニ候得共、油断無く正学励、門人共取立申すべき筈ニ候。然 処 近来世上種々新規の説をなし、異学流行、風俗を破り候類之有り、全く正学衰微の故ニ候哉、甚だ相濟まざる事ニて候。其方門人共の内にも右体（注1）の學術純正ならざるも、折節は之有る様ニも相聞え、如何ニ候。此度聖堂御取締嚴重に仰せ付けられ、柴野彦助、岡田清助儀も右御用仰せ付けられ候事ニ候得ば、能々此旨申し談じ、急度門人共異学相禁じ、猶又、自門に限らず他門ニ申し合せ、正学講窮致し、人才取立候様相心掛申すべく候事。

（『憲法類集』）

（注1）右体：右に述べたような。

X：史料中の「正学」とは、「朱学」を指すと考えられる。

Y：この政策は、天保の改革で打ち出された。

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
 ③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

問7 ウ に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

82

- ① 閑院宮 ② 桂宮 ③ 有栖川宮 ④ 伏見宮

問 8 下線部㉑に関連して、寛政の改革で処罰された出版業者の名前として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 83

- ① 角倉了以 ② 蔦屋重三郎 ③ 末次平蔵 ④ 岩崎弥太郎

第5問 近代の製糸業・生糸に関する文章Aと、明治期の思想に関する文章Bを読み、下の問い（問1～9）の答えを解答欄に記入せよ。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

A 1858年、ハリスと幕府との間で^a 日米修好通商条約が調印された。同条約を含む安政の五カ国条約にもとづいて、翌年から貿易が開始されると、生糸は最大の輸出品となった。

国産の繭を原料とする製糸業は、最大の外貨獲得産業であったこともあり、^b 産業・経済の近代化をはかる明治政府は、生糸の生産拡大をめざし、1872年に官営模範工場として富岡製糸場を設けた。

アメリカなどへの生糸の輸出が増大するなかで、^c 日清戦争後には、器械製糸の生産量が、座繰製糸の生産量を上回った。^d 日露戦争後の1909年には生糸の輸出量が清国を抜いて世界一となった。

1910年代の大戦景気の時期にはアメリカへの生糸輸出がさらに増大したが、1930年には日本経済が昭和恐慌に陥るなかで生糸の輸出は激減し、^e 1930年代半ばには、輸出の首位の座は、綿織物に奪われた。

問1 下線部②に関連して、日米修好通商条約の一部である次の史料に関して述べた下の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

84

第三条 下田・箱館港の外、次にいふ所の場所を、左の期限より開くへし。

神奈川 ……西洋紀元千八百五十九年七月四日

長崎 ……同断

新潟 ……千八百六十年一月一日

兵庫 ……千八百六十三年一月一日

第四条 総て国地に輸入輸出の品々、別冊の通、日本役所へ、運上を納むへし。

X：この条約にもとづいて、関東・九州・北陸・近畿の各地方で、同時に諸外国との貿易が開始されたと考えられる。

Y：条約中の「別冊」とは改税約書のことと、関税率が低く抑えられていたため、翌年に貿易が開始されると大幅な輸入超過となった。

① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤

③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

問2 下線部㉑に関連して、明治政府が打ち出した産業・経済の近代化に関わる政策に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 85

Ⅰ：前島密の建議を受けて、飛脚に代わる官営の郵便制度を整備した。

Ⅱ：日本銀行の設立や銀兌換紙幣の発行を経て、銀兌換を開始した。

Ⅲ：鉄鋼の国産化をめざし、九州北部に八幡製鉄所を設立した。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問3 下線部㉒に関連して、日清戦争後にあたる、1890年代後半の中国の状況に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

86

- ① アヘン戦争が発生した。
- ② アロー戦争が発生した。
- ③ 列強による中国分割が進展した。
- ④ 五・四運動が高揚した。

問4 下線部㉓に関連して、1909年から内務省が中心となって推進した国富増強運動の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 87

- ① 国民精神総動員運動 ② 地方改良運動
- ③ 農山漁村経済更生運動 ④ 農村救済請願運動

問5 下線部㉔に関連して、1930年代半ばの出来事に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 88

- ① 二・二六事件によって犬養毅首相が殺害された。
- ② 血盟団事件によって斎藤実内大臣らが殺害された。
- ③ 広田弘毅内閣によって日独伊三国同盟が締結された。
- ④ 岡田啓介内閣によって国体明徴声明が出された。

B 明治時代初期には、西洋思想を導入する動きが活発化した。具体的には、1873年に森有礼らが ア を組織して近代思想の普及につとめたこと、中村正直訳のスマイルズの『 イ 』が啓蒙書としてさかんに読まれたことなどがあげられる。天賦人権論などの思想が広まるなかで、^㉔ 1870年代から1880年代にかけて、自由民権運動が高揚した。

一方、^㉕ 朝鮮問題や条約改正交渉をめぐる問題などを背景に、^㉖ 民権論に対し、^㉗ 国権論が台頭するようになった。

問6 ア ・ イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 89

- ① アー 立志社 イー 文明論之概略
- ② アー 立志社 イー 西国立志編
- ③ アー 明六社 イー 文明論之概略
- ④ アー 明六社 イー 西国立志編

問7 下線部㉑に関連して、民権派による運動が展開されるなかで、運動を抑制することなどを目的として、1870年代から1880年代にかけて政府が公布した法令の名称として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

90

- ① 讒謗律 ② 保安条例 ③ 新聞紙条例 ④ 治安警察法

問8 下線部㉒に関連して、日本と朝鮮に関わる出来事に関して述べた次の文章X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

91

X：この事件を機に締結された日朝修好条規には、朝鮮を「自主の邦」として、清との冊封関係を否定する条項が盛り込まれた。

Y：独立党の指導者であるこの人物らは、清仏戦争の勃発を機に、日本公使と結んで甲申事変を起こした。

a：義和団事件 b：江華島事件
c：安重根 d：金玉均

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問9 下線部①に関連して、明治期に民権論や国権論を展開した人々の活動に関して述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

92

- ① 徳富蘇峰は『国民之友』を刊行し、平民的欧化主義を唱えた。
- ② 志賀重昂は『改造』を刊行し、小日本主義を唱えた。
- ③ 三宅雪嶺は政教社をつくり、雑誌『日本人』を刊行した。
- ④ 陸羯南は新聞『日本』を刊行し、国民主義を唱えた。

第6問 市民文化の発展に関する文章A・Bを読み、下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

A 明治末期から大正期にかけて、のちに阪神急行電鉄と改称される箕面有馬電気軌道の設立に関わった小林一三のアイデアによって、沿線で住宅地開発が進められ、遊園地や温泉、といった娯楽施設が設けられた。

① 1910年代から1920年代にかけては新聞の発行部数も増え、『サンデー毎日』や『週刊朝日』といった週刊誌、『』などの大衆娯楽雑誌が刊行された。『』の創刊で知られる1925年にはラジオ放送も開始され、翌年には日本放送協会（NHK）が設立された。

② 満洲事変が勃発した翌年にあたる1932年には、ラジオ放送聴取契約者が100万人を超えた。

ラジオ放送は、日中戦争開戦後には、戦意の高揚や、大政翼賛会の最末端に位置づけられたの組織化に利用された。1945年8月、はポツダム宣言の受諾を決定し、天皇はラジオの「玉音放送」を通じて戦争の終結を発表した。

問1 ・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー築地小劇場 イーキング
- ② アー築地小劇場 イー赤い鳥
- ③ アー宝塚少女歌劇団 イーキング
- ④ アー宝塚少女歌劇団 イー赤い鳥

問2 下線部③に関連して、1910年代から1920年代にかけての対外関係に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 94

Ⅰ：ワシントン会議の全権として、加藤友三郎らが派遣された。

Ⅱ：中国の袁世凱政府に対し、二十一カ条の要求が行われた。

Ⅲ：日ソ基本条約が締結され、ソ連との国交樹立が実現した。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問3 下線部①に関連して、満洲事変に関係する次の史料に関して述べた文章として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 95

九月十八日午後十時ヨリ十時三十分ノ間ニ鉄道線路上若^{もしく}ハ其ノ付近ニ^{おい}於テ爆発アリシハ疑ナキモ、鉄道ニ対スル損傷ハ若^もシアリタリトスルモ、事実長春ヨリノ南行列車ノ定刻到着^(着)ヲ妨ゲザリシモノニシテ其レノミニテハ軍事行動ヲ正当トスルニ充分ナラズ。同夜ニ於ケル叙上日本軍ノ軍事行動ハ合法ナル自衛ノ措置ト認ムルコトヲ得ズ。(中略)

吾人ハ「満洲国政府」ハ地方ノ支那人ニ依^よリ日本側ノ手先ト目セラレ、支那側一般ノ支持ナキモノナリトノ結論ニ到達シタリ。

(『日本外交文書』)

- ① この史料中の「九月十八日」に起こった事件は、盧溝橋事件である。
- ② この史料は、日満議定書の一部である。
- ③ この史料では、日本軍の軍事行動について肯定的に捉えられている。
- ④ この史料では、「満洲国政府」について日本の傀儡政権だと捉えられている。

問4 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウー隣組 エー鈴木貫太郎内閣
- ② ウー隣組 エー幣原喜重郎内閣
- ③ ウー五人組 エー鈴木貫太郎内閣
- ④ ウー五人組 エー幣原喜重郎内閣

B 第二次世界大戦後、GHQのもとで言論・思想の統制が解かれ、天皇制の批判なども自由とされた。ただし、占領軍に対する批判は、プレス=コードやラジオ=コードで禁じられた。

敗戦は生き残った人々に虚脱感をもたらし、^㉓多くの国民は、食料不足や失業、インフレーションのなかでの物資の調達といった問題に直面した。一方で、開放的なアメリカ文化が流入して社会に解放感が広まり、^㉔戦前・戦中に主流だった国家主義的な思想や学問が否定され、弾圧されていたマルクス主義なども復活した。自然科学の分野では、1949年に理論物理学者のが、日本人ではじめてノーベル賞を受賞した。

戦争から解放された国民の間には大衆文化が広がり、歌謡曲では、並木路子の歌う「リンゴの唄」の大流行に続いて、が登場した。

1953年にはテレビ放送が開始され、マスメディアによって大量の情報が伝達されるようになった。^㉕1950年代半ば以降の高度経済成長期には、生活様式が画一化されるなか、国民の間には中流意識が広まった。

問5 下線部㉓に関して述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 97

- ① 都市民衆は、買出しや闇市での闇買いなどで飢えをしのいだ。
- ② 家を失った人々は、バラック小屋を建てて雨露をしのいだ。
- ③ 軍人の復員や一般の居留民の引揚げが、失業者の急増に影響を与えた。
- ④ 金融緊急措置令にもとづく通貨の増発が、インフレーションに影響を与えた。

問6 下線部㉔に関連して、戦前における学問・思想の弾圧の事例の一つである、自由主義的の刑法学説を唱えていた京都帝国大学教授が、1933年に文部大臣の圧力で休職職分を受けた事件の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 98

- ① 下山事件 ② 滝川事件 ③ 森戸事件 ④ 人民戦線事件

問7 オ・カに入る人名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 99

- ① オー湯川秀樹 カー美空ひばり
- ② オー湯川秀樹 カー松井須磨子
- ③ オー朝永振一郎 カー美空ひばり
- ④ オー朝永振一郎 カー松井須磨子

問 8 下線部㉔に関連して、高度経済成長期の社会に関して述べた次の文章 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 100

X：「三種の神器」と呼ばれた、白黒テレビ・自動車・電気冷蔵庫が普及した。

Y：都市部から郊外にのびる鉄道沿線に、新中間層向けの文化住宅が建てられた。

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤